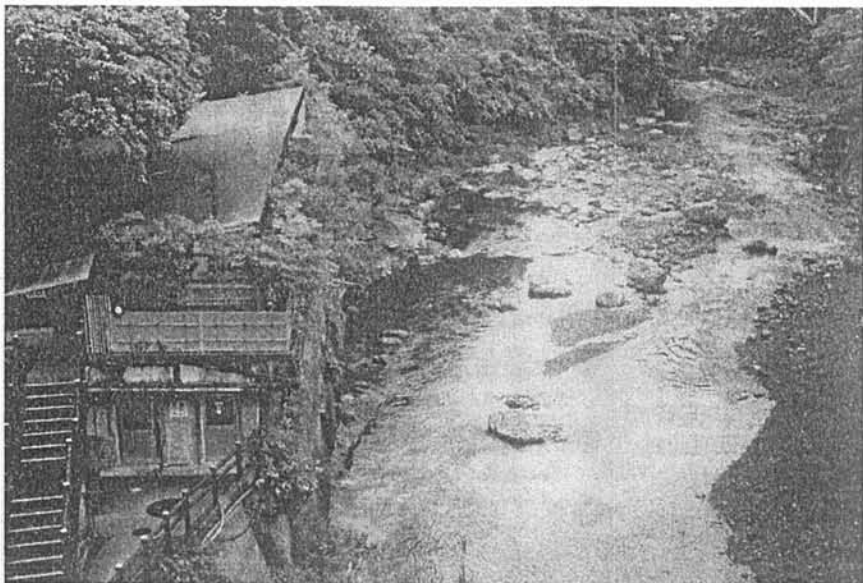


硬水と軟水

地域により異なる水の硬度
 なる水の硬度は、お湯を沸かすやうな水道水には、カルシウム約50ppm(水1リットルあたりに約50ppm)、地域によって異なるが、雨量が、軟水の味は淡白で水つまりミネラル分が含ま

皮膚にやさしい軟水



れている。この量が多い場合は「硬水」、少ない場合は「軟水」と呼ばれ、お湯を沸かすやうな水道水には、カルシウム約50ppm(水1リットルあたりに約50ppm)の含有量が三〇ppm以下がよいと言われる。硬水は石鹸を洗剤にも使えず、泡立ちにくく、カルシウムやマグネシウムなどの金属イオンが石鹸に含まれる脂肪酸と結び

石鹸の泡立ちよい軟水

「日本三美人の湯」といわれる龍神温泉の湯は皮膚にやさしい軟水だ

て、いわゆる石鹸カスが発生する。これが石鹸本来の洗浄力を奪ってしまふので、必要以上に皮膚をこするなどして肌荒れの原因をつくることがある。皮膚が分泌する汗や汚れた皮脂も炎症やかゆみの原因となり、さらに精神的なストレスによって皮膚病を悪化させることもあるといわれる。

これを防ぐには、皮膚を清潔に保ち、皮膚の新陳代謝を促進させることが大切だ。石鹸に浴槽やすく泡立ちのよい軟水は、皮膚への刺激も少なく、皮脂の新陳代謝が活発になり、水分を保つ皮膚の角質層の状態が改

美肌の効果も

欧米では家庭用軟水器普及

洗濯物に残留した洗剤に含まれる酵素や蛍光剤などの添加物が刺激となり、かゆみを起すメカニズムもあるといわれている。肌に直接触れる衣類の洗濯には、風呂の残り湯を利用して、洗剤をまずお湯で洗ってから使うことが

「日本三美人の湯」といわれる龍神温泉の湯は皮膚にやさしい軟水だ

水道水の出身にも関心を

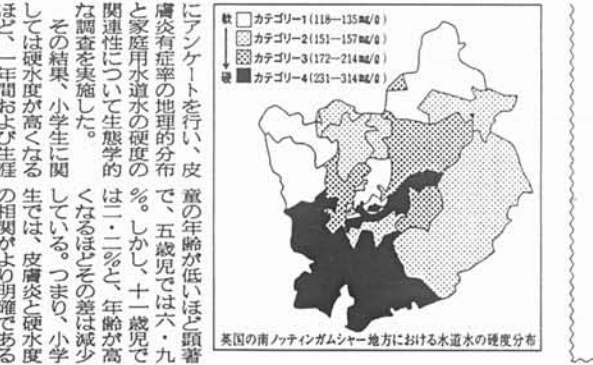
シウムなどの金属イオンが、小児のアトピー性皮膚炎の発症に関与しているといわれる。食事や洗濯、入浴などで皮膚と直接触れる。あるいは飲食をとおして内臓と触れる水道水の出身にも、日頃から注意を払う必要がある。カルシウムやマグネシウム、ミネラルなど、水分を保持する働きも、肌の乾燥を防ぐのに効果的だ。洗濯物の量に応じて洗剤の量を減らすことも必要だ。

アトピー性皮膚炎の発症に重要な影響を与えているか、また原因を特定するにはどうすればよいのか、アトピー性皮膚炎の発症に重要な影響を与えているか、また原因を特定するにはどうすればよいのか、アトピー性皮膚炎の発症に重要な影響を与えているか、また原因を特定するにはどうすればよいのか...

皮膚炎と硬水度の関連

ノッティンガム大学医学部が生態調査

生活環境は、アトピー性皮膚炎の発症に重要な影響を与えているか、また原因を特定するにはどうすればよいのか、アトピー性皮膚炎の発症に重要な影響を与えているか、また原因を特定するにはどうすればよいのか...



硬水度と皮膚炎の発症率 (小学生)

| 硬水度カテゴリー | 報告された皮膚炎の人数 | 発症率 (%) | 報告された1年皮膚炎の人数 | 発症率 (%) |
|----------|-------------|------------|---------------|---------|
| 1 | 796 | 167 (21.0) | 94 | 12.0 |
| 2 | 731 | 171 (23.4) | 103 | 14.1 |
| 3 | 1115 | 253 (22.7) | 163 | 14.6 |
| 4 | 1509 | 384 (25.4) | 261 | 17.3 |

英国全体の硬水度と皮膚炎の発症率との関係が最も低いという調査結果がでている。特に家庭用軟水器の設置の有無が関係しているという。アトピー性皮膚炎の発症に重要な影響を与えているか、また原因を特定するにはどうすればよいのか、アトピー性皮膚炎の発症に重要な影響を与えているか、また原因を特定するにはどうすればよいのか...

罹患少ない軟水地域 アトピー性皮膚炎